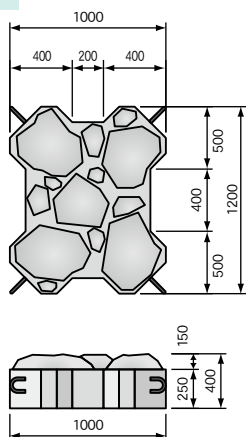


特長

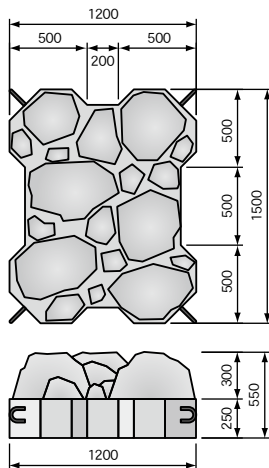
- 減勢護床ブロックは、突起形状を大きくすることで粗度係数を大きくすることができます。
($n=0.042$ 程度)
- 減勢護床ブロックは、緩傾斜落差工の下流側護床工として使用することにより、設置長さを短くすることが可能で、自然環境の保全に寄与でき、工費の低減になります。
- 流速の低減が図れ、魚類や底生生物の昇降が容易となります。また、擬石形状が自然環境によくなじみます。

製品図

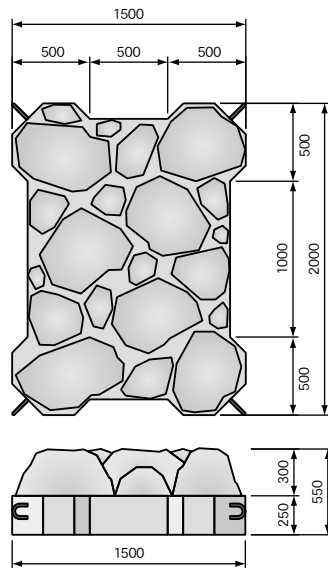
0.5 t 型



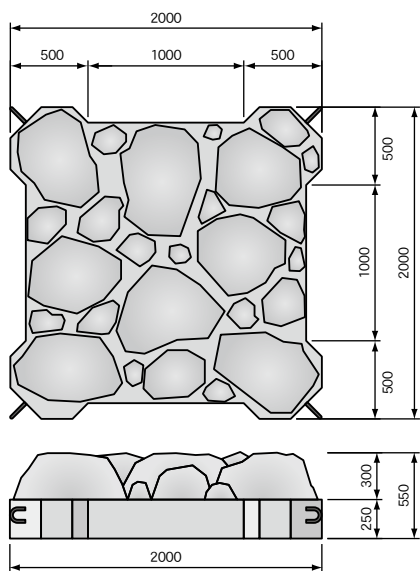
1 t 型



2 t 型



3 t 型



呼名	参考質量 (kg)
0.5 t 型	700
1.0 t 型	1,250
2.0 t 型	2,100
3.0 t 型	3,050

※形状・寸法は変更する場合があります。
※ブロック間は連結シャックルにて連結します。

連結金具	適用サイズ
φ16mm	0.5 t ~ 2.0 t 型
φ19mm	3.0 t 型

●標準歩掛り

据付工

1日当り

名称	規格	単位	数量	備考
世話役		人	1.0	
特殊作業員		人	1.0	
普通作業員		人	2.0	
ラフテレーンクレーン	25 t 吊り	日	1	2.5 t 未満50個据付 2.5 t 以上43個据付
諸雑費				労務費+トラッククレーンの0.1%

